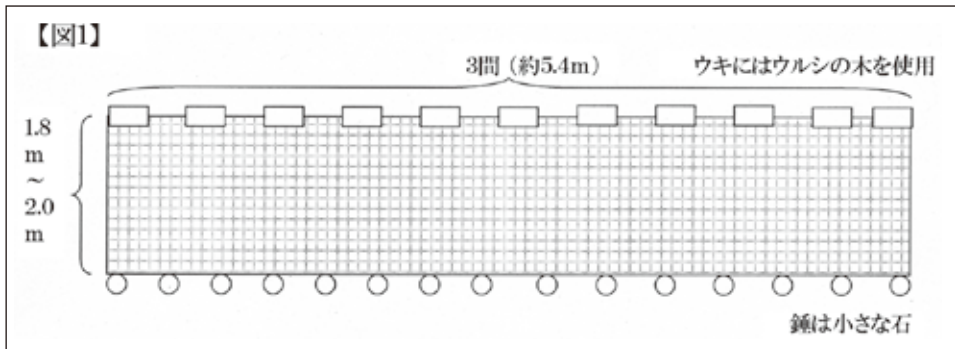


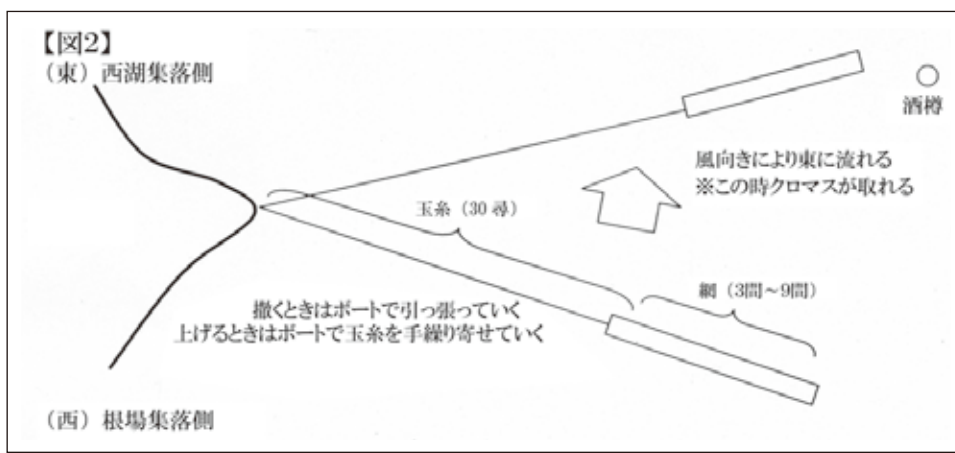
や養蚕を主に言い、冬季にはヒメマスを中心とした漁で生計を立てていました。祖母も小さい頃から家のことを手伝い、曾祖父と一緒にヒメマス漁を行っていたそうです。祖母は昭和元年生まれです。当時の高等小学校の十三歳から結婚するまでの二十四歳までの間、冬場にはヒメマス漁を手伝っていました（戦時中の十六歳、十七歳までの一年半は、東京の軍事工場で働いていたということです）。当時、西湖でヒメマス漁をやるのは三軒、四軒程度であり、最も大きく行っていたのが曾祖父だそうです。ヒメマス漁は十月下旬、三月下旬まで行われており、漁法は底刺し網でした。養蚕で手にしたお金を基にして、名古屋から網を取り寄せ、西湖での漁法に合うように改造して使用していました。網に垂となる小さな石、ウキにはウルシの木を取り付けた刺し網にし、高さは約一八〇センチ、二〇〇センチで、長さは三間（約五・四メートル）のものを二枚から三枚使用していたそうです【図一】。

この網を使い、西湖で西之越と呼ばれている場所



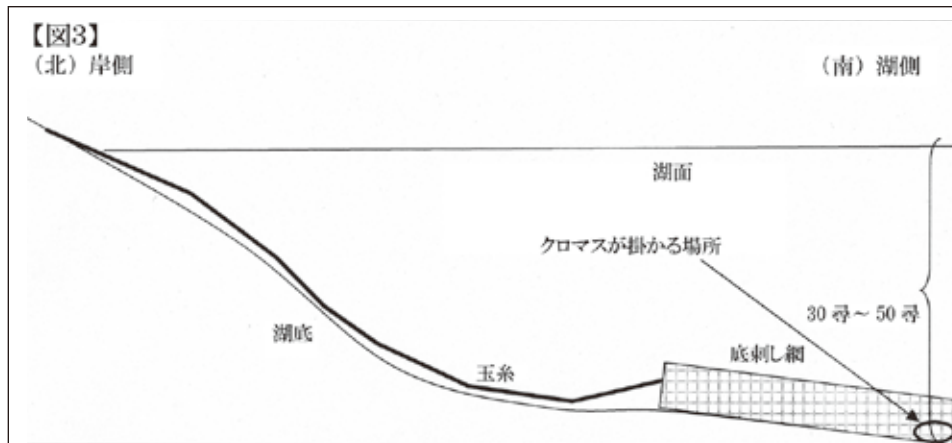
ヒメマス漁をしていました。この場所が一番取れたそうで、西湖でも深い場所になります。西湖は、南側は溶岩が迫ってきており、網を傷つけることが多く、漁には適していません。集落に近い東側は遠浅になっており、深い場所に生息するヒメマスを取ることは出来ません。このため、最も適しているのが西之越だったのです。当時の西湖では、最も深い所に酒樽をウキにした目印を設置されていたそうです。五〇尋の深さがあつたということです。約七五メートルの場所に設置されていたようです。ここから少し離れたところ、ヒメマスが多く取れる場所、最も深い酒樽のある付近には地元でモヤと呼ばれる流木などが沈んでいたため、これを避けて西之越の先端から西側に向けて沖合に底刺し網を撒いていました。

ヒメマス漁をしていました。この場所が一番取れたそうで、西湖でも深い場所になります。西湖は、南側は溶岩が迫ってきており、網を傷つけることが多く、漁には適していません。集落に近い東側は遠浅になっており、深い場所に生息するヒメマスを取ることは出来ません。このため、最も適しているのが西之越だったのです。当時の西湖では、最も深い所に酒樽をウキにした目印を設置されていたそうです。五〇尋の深さがあつたということです。約七五メートルの場所に設置されていたようです。ここから少し離れたところ、ヒメマスが多く取れる場所、最も深い酒樽のある付近には地元でモヤと呼ばれる流木などが沈んでいたため、これを避けて西之越の先端から西側に向けて沖合に底刺し網を撒いていました。



漁法は前述のとおり底刺し網であり、西之越の先端から三〇尋（約四五メートル）地点まで玉糸を伸ばし、玉糸に網をつないで入れています。目の酒樽より西側に向けて撒いていたように、風向きによって、目の酒樽側の網が流れることも少なくありません。漁は十月下旬、三月下旬まで行われており、畑仕事や養蚕が始まる頃から漁には行かなくなるようです。夏場は西湖集落付近でフナやウグイ、鮎などを取っていました。このようなことからヒメマス漁は冬場に行われていました。夕方網を撒き、朝日が昇ると網を上げに行き、学校に行く前に自転車で売りに行っていたそうです。この漁で取ったヒメマスは隣の勝山村にある富士ビューホテルで重宝され、高値で取引されていました。多いときには一貫目（二〇

漁法は前述のとおり底刺し網であり、西之越の先端から三〇尋（約四五メートル）地点まで玉糸を伸ばし、玉糸に網をつないで入れています。目の酒樽より西側に向けて撒いていたように、風向きによって、目の酒樽側の網が流れることも少なくありません。漁は十月下旬、三月下旬まで行われており、畑仕事や養蚕が始まる頃から漁には行かなくなるようです。夏場は西湖集落付近でフナやウグイ、鮎などを取っていました。このようなことからヒメマス漁は冬場に行われていました。夕方網を撒き、朝日が昇ると網を上げに行き、学校に行く前に自転車で売りに行っていたそうです。この漁で取ったヒメマスは隣の勝山村にある富士ビューホテルで重宝され、高値で取引されていました。多いときには一貫目（二〇



く三〇匹)ほどのヒメマスが取れ、特に寒い時期(十二月く二月)が多く取れたそうです。

祖母の記憶

「黒いマス」

肝心の「クロマス」と呼ばれていた黒いマスは、網が風向きにより東側の深い所に流れてしまつたときに、何匹かかったそうです。産卵後に黒くなったヒメマスはクロマス、白いままのヒメマスはシロマスと呼ぶこともあったようですが、どちらもヒメマスだと考えられていました。クロマスは多い日には、二匹とか三匹とか数匹かかることもありましたが、売れない魚なので取れても困るというのが本音だったそうです。身が柔らかく、ヒメマス(シロマス)と同じように焼いて食べるのにはふさわしくない魚と考えられており、売ることも無く、自分たちが食べることもほとんどなかったそうです。取れても生きているクロマスは湖に放し、死んでしまったクロマスを岸に置いておくと、山猫が来て食べているのを良く見たそうです。ヒメマス(シロマス)と比較すると、クロマスは歯がキザキザで鋭く大切な網に傷つけることもあり、尻尾が溶けている(傷ついている)ものが多く美味しそうな見栄えではなかったそうです。こういったことから分かるように、クロマスを狙つての漁ではなく、ヒメマス(シロマス)を狙った漁にたまに掛かってくるのがクロマスでした。曾祖父は「深い所にクロマスの巣があり、そこに網が流れたときには掛かるのだよ」と言っていたそうです。クロマスの取れるところは網の先の方であり、西湖で最も深い場所に近い所でした。祖母は、村の人たちから聞かされていたように、ヒメマスが卵を産むと黒くなり、身が柔らかくなるのだと思ひ込んでいたようです。

しかし、網に掛かるクロマスは歯がギザギザと鋭く、ヒメマス(シロマス)とは顔つきも異なっているため、違う魚かもしれないと

も考えたこともあったそうです。尻尾が溶けているのは産卵しているためであり、こんな深い場所ではヒメマスが卵を産むのかと不思議に思っていたそうです。

中坊先生の「クニマスについて―秋田県田沢湖での絶滅から 七十年―」や杉山先生の「クニマス百科」によれば、田沢湖の深い所で産卵していたクニマスと祖母の言う西湖のクロマスの生態はよく一致しています。このクロマスは、クニマスだったのではないかと考えられます。

「先人の知恵」

田沢湖から買ったクニマスの放流の記録について祖母は記憶していませんでした。当時のヒメマスの養殖は西湖集落の中にあるマス小屋というところで行われており、卵から育てているので、マス小屋を見に行くと稚魚も多くとても面白かったそうです。マス漁も小さな魚は取らないようにするために、三年子と呼ばれる三年以上生きている魚が掛かるような目の大きな網を使用していたとのことでした。

当然、自然孵化した魚もいたと思います。こういった小さな魚を守りながらの漁をしていたことは、

自然と共存してきた西湖の先



人の知恵なのでしょう。

このような、自然と共に生きるための素晴らしい生活の知恵と工夫があったからこそ、西湖という小さな湖の中でクニマスが現代まで世代を受け継いできたという奇跡を生み出したのかもしれない。今を生きる私たちも自己の利便性のみを追いかけるのではなく、自然と共に生きていることを忘れてはなりません。今、クニマスが姿を現したことで、忘れかけていた大切なことを教えてもらいました。

クニマスと豊かな自然を後世に

今回のまとめは、京都大学の中坊先生のご助言もあり、祖母の言葉を何らかの形で残しておくことを念頭に置き記しました。西湖のクニマス(祖母はクロマスと呼んでいます)が、クニマスではないかと思っています)の存在を知っている人が私の身内にいたことは、なんだか運命的なものを感じます。七十年前に絶滅したとされていた幻の魚クニマス。祖母の話聞いてみて、本当に西湖にクニマスが生息していることを改めて感じました。このことは、私の先祖を含め西湖の先人たちが自然を大切にし、自然とともに生きてきた証拠です。自然も時には厳しい顔を見せることがあります。自然とともに生き、自然を守ってきたことは、今後も伝えていかなければなりません。これが形になったものが、クニマスではないでしょうか。クニマスを単なる見せ物として扱わず、自然豊かな地域であることに誇りを持ち、自然豊かな地域を後世に伝えていくことが私たちに課せられた使命ではないかと感じます。

レポートを残すに当り中坊先生はじめご協力いただきました皆様、大変ありがとうございます。

(特別寄稿・富士河口湖町政策局 渡辺 大介)



見て知る、遊びながら学ぶ 松山油脂工場見学会

スキンケア 工場見学ツアー

化粧水やクリームなど、「スキンケア製品」の製造方法をわかりやすくご案内。また化粧石けんを成型する「型打ち」も体験していただきます。

つくってみよう 手作りせっけん

フレーク状の石けんに、精油やハーブをまぜてこねて固めたオリジナル石けん作りを体験。見学の記念としてお持ち帰りいただけます。

開催日
10月15日(土曜日)

開催時間
10:00~11:30

※定員50名(抽選)
※費用は一切かかりません
※プレゼントをご用意しています。

今年も松山油脂富士河口湖工場の見学会を開催します。私たちのことをもっと身近に感じていただけるように、そして、日頃お世話になっている感謝の気持ちを込めて、松山油脂のスタッフも楽しみに皆様をお迎えします。

場 所 松山油脂富士河口湖工場
南都留郡富士河口湖町船津6662-13
応募方法 電話にて氏名・希望人数をご連絡ください。
後日招待状を郵送いたします。
※定員50名 抽選となります
受付期間 平成23年9月12日(月)~16日(金)
応募先 (0555) 72-6887 担当 三枝・渡辺
※お伺いする個人情報は今回の工場見学会についてのご案内にのみ利用します。

「古くなった消火器はありませんか？」

たり腐食している消火器は破裂する危険があります。

全国においても、腐食した消火器を操作した際に消火器が破裂する事故が発生したケースがあります。

消火器が雨風にさらされる場所や湿度の多い場所などに設置されていないか確認するとともに、消火器の状態を点検し腐食が進んでいるものは絶対に使用しないで下さい。

また、不用になった消火器は破裂の危険性があるため、解体などせずに回収を行なっている事業者へ廃棄処理を依頼しましょう。

回収窓口のリストは、消火器リサイクルセンターのホームページにて随時更新していますのでご活用下さい。 <http://www.ferpc.jp/>

家庭や事業所に設置されている消火器はいつ設置したものがご存知ですか。耐用年数が過ぎていたり、さび



●問合先 (株)消火器リサイクル推進センター TEL 03-5829-6773

社協だより

『東日本大震災』義援金のご協力
ありがとうございます

「東日本大震災」の被災地に対して、町内の多くの方から引き続き心温かい義援金をいただきました。

義援金は、前回分から8月11日現在で『十八万九千二百八十二円』となり中央共同募金会及び、日本赤十字社を通して、被災地の皆さんに送られております。

町を通して、次の方々から義援金をいただいております。

なお、直接募金箱への募金や他の義援金窓口を通して、多くの方々からご協力をいただいております。ありがとうございます。

町並びに、町社協では、9月30日(金)まで、義援金の受付をしております。

義援金協力者名 順不同、敬称省略

- ◎ボトリ会の会
- ◎河口湖南中学校生徒会
- ◎水越富志夫 ◎渡辺力
- ◎竹内精一 ◎松川巴義
- ◎岩本富美子 ◎竹内勝子
- ◎川田千恵子 ◎中村澄子

赤い羽根共同募金には、税制上の優遇措置があります。所得税、法人税、個人住民税が対象。(※所定の領収書が必要)



義援金総額 14,300,581円 (H23.8.11現在)

平成23年7月新潟県、福島県

豪雨義援金を募集中

7月29日に新潟県、福島県を中心とした豪雨災害により、家屋の床上浸水、倒壊等の災害が発生しました。

新潟県、福島県両県共同募金会には、この災害で被災を受けた方々を支援することを目的に、義援金の募集を実施しています。(両県とも10月31日まで受入)

【平成23年7月新潟県豪雨義援金】

第四銀行 白山支店

口座番号「1660049」

口座名義「(福)新潟県共同募金会」

(振込手数料負担があります)

【平成23年7月福島県豪雨義援金】

ゆうちょ銀行

口座番号「0223011」

口座名義「福島県共同募金会」

福島県豪雨義援金

(10月31日まで手数料無料)

23年度社協会費のご納入

お礼申し上げます

町社会福祉協議会は、町民の皆様からのあたたかい善意に支えられて運営されています。

今年度も、自治会・区会のご協力により、多くの皆様から会費を納入いただきました。心よりお礼申し上げます。

本栖湖ファントレイジングマラソン

ボランティア募集

自分の為ではない誰かのために走る、参加してエンジョイすることで誰かの為に繋がるマラソン。ファントレイジングマラソンを本栖湖で開催します。

- 開催日: 2011年10月9日(日) 10:00～
- 会場: 本栖湖青少年スポーツセンター
- コース: 12km(本栖湖周回道路)
- 主催: 本栖湖ファントレイジングマラソン実行委員会
- 参加者: 一般参加者1,000名、ブラインドランナー100名

この大会に対するボランティアを募集いたします。
お手伝いいただく業務は、給水所や参加者の受付などです。
ご協力いただける方は、町役場政策局72-6023までご連絡下さい。



献血の日のお知らせ

あなたのやさしさわけてください

日時 平成23年9月28日(水)
午前10時から11時30分
午後0時30分から3時まで

会場 富士河口湖町役場 駐車場

協力 河口湖ライオンズクラブ



献血していただいたみなさまへ感謝の気持ちをこめて

血液センターでは、献血にご協力いただいた方々への感謝のきもちとして、血液中のコレステロールや総蛋白の検査を始め7項目の生化学検査成績を献血者全員にお知らせしています。また、400mL献血にご協力いただいた方には、赤血球数や血小板数などを調べる血球計数検査成績をお知らせします。

お問い合わせは 富士河口湖町健康増進課 TEL0555-72-6037

ふじサンサン

富士河口湖町男女共同参画推進委員会

推進委員としてチャレンジ!!

梶原 経子

先日、趣味の合唱コンクールで栃木県に行く機会がありました。そこで偶然にもこちらの男女共同参画推進委員の方々とお話をすることが出来ました。栃木県における、人々と参画に対する色々な取り組み方を聞かせて頂き大変勉強になりましたが、それと同時に啓発活動の大変さを聞き、やはり、それが大きな問題点だとうつくしく感じました。

男女共同参画ということばですら、いまだに理解されていないのではと、理想と現実の差が大きいと思います。

男性も女性も心や身体の作りは、まったく違うわけですから、それを理解した上でお互いを認め尊重し、助け合って生きて行くという考えを一人ひとりが、感じていけたら本当の意味での男女共同参画社会が確立されて行くのではないのでしょうか!!そんな社会の実現に向けて少しでもお役に立ていけたらいいな一と思っています。

そこでお知らせですが、毎年都留市にある「びゅあ都留 男女共同参画推進センター」で実施されています。びゅあ富士フェスティバルが今年度は十月二十二・二十三日の二日間で行われます。郡内地域の推進委員さん方々による活動発表・芸能発表・講演会と盛りたくさん内容になっております。

是非、皆さんの参加をお待ちしております。

家庭を守る防災対策 Part 55

[平常時に家族と話しておくこと]

本年3月11日に発生した東日本大震災の地震では、私たちの町も電気や電話などライフラインが途絶え、携帯電話も通じにくく不便な状況だったことは皆さんの記憶に新しいことと思います。

災害が発生した時に必ずしも家族全員がそろっているとは限りませんし、離れて暮らしている家族もいらっしゃると思います。

家族が離ればなれでいる場合を想定し、平常時から話し合っておくことが大切です。

たとえば、自宅・職場などの近くや、通勤・通学途中にある避難所の場所を家族で確認しておく、有事の際にお互いの居場所がわかりやすくなります。

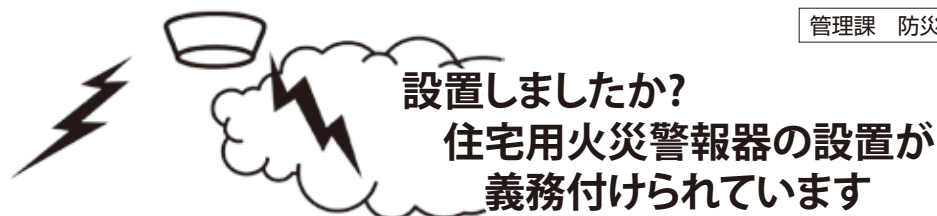
また、災害発生時に無事を伝えるのは被災地側から行ない、被災地の外から被災地に向けて電話をしないように心がけましょう。

「171」災害用伝言ダイヤルといったメッセージを登録したり確認したりすることができるサービスもいろいろあります。どの連絡方法を利用するかあらかじめ家族で決めておき、使い方を覚えておきましょう。

家族におけるさまざまな状況を予想して、避難行動や避難場所、連絡方法を話し合いましょう。



管理課 防災係 TEL 72-6013



9/30(金)は
「交通事故死ゼロを目指す日」

秋の全国交通安全運動

平成23年9月21日(水)～30日(金)

1 運動の基本

子どもと高齢者の交通事故防止

2 運動の重点

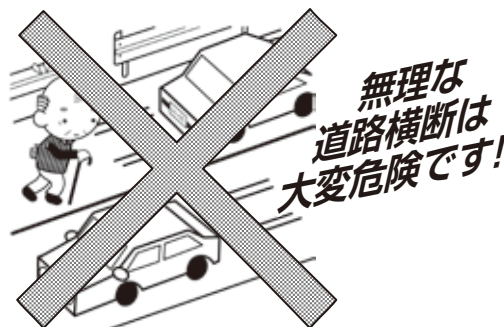
- (1)夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
(特に反射材用品等の着用の推進及び自転車前照灯の点灯の徹底)
- (2)全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- (3)飲酒運転の根絶
- (4)二輪車の交通事故防止

本年、65歳以上の方の道路横断中における死亡事故が多発しています。

道路横断をする際には、横断歩道のある場所を選び、左右の安全を十分に確認してから横断しましょう。

また夕暮れ時や夜間の外出の際には、明るい色の服装や反射材を身に付け、自分自身を目立たせましょう。

飲酒運転は悲惨な事故につながり大変危険です。家族、職場、地域ぐるみで「飲酒運転はしない・させない」を呼びかけ、飲酒運転をなくしましょう。



運転者、歩行者ともに交通ルールと交通マナーを守り、交通事故をなくしましょう。


<http://www.kenkoudai.ac.jp>

『健康大ブログ』好評発信中！

もっと知りたい！健康大

夏のオープンキャンパス大盛況！！



みんなでお出迎え



サークル紹介（車椅子バスケット）



卒業生レポート

7/23、8/6 と開催したオープンキャンパスは、今年も大盛況のうちに幕を閉じました。県内や隣県、関東地域はもちろんのこと、新潟県や福島県、山形県といった遠方からも大勢の方にご参加頂き、7/23 は 174 名、8/6 は 256 名という昨年を上回る参加者数となりました。

模擬講義や個別相談を始め、本学在学・卒業生による発表、サークル団体によるかき氷の無料配布など様々なプログラムを用意しましたが、いずれも好評で、キャンパス内に参加者の笑顔で溢れていたように感じています。

次回は 9/11 を予定しています。秋の気配を見せ始める健康大に、皆様も一度遊びに来て下さい。



受付にて



個別相談会



作業体験（革細工）

職場・求人説明会を開催しました

8/3 は、夏の恒例行事「職場・求人説明会」が行われました。本学 3・4 年生を対象に、県内外の病院や施設、大学院といった事業所様にお越し頂き、各事業所の紹介や求人情報についての説明を頂きました。着なれないスーツ姿の学生たちが緊張した面持ちで臨む様子が印象的でした。



告知

秋のオープンキャンパス

9月11日（日）11:00～15:00

【開催内容】

外部専門講師による入試対策講座
模擬講義、各種展示、キャンパス見学ツアー、宿舎見学ツアーなど

詳しくは大学 HP にて！
地域の皆様も是非遊びに来て下さい！

【お問い合わせ】

- 総務課 0555-83-5200(代表)
- 入試広報課 0555-83-5240